



2011・11・8

第152号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

憲法めぐる動き急—交流集会の成功を

大江、奥平、澤地の3氏あいさつ

衆参の憲法審査会がついに始動、さらに武器輸出3原則の緩和や紛争がつづく南スーダンへの自衛隊派遣の動きなど、憲法改悪に向けた動きが激しさを増しています。こうしたなか、九条の会は第4回全国交流集会の成功をめざし、11月1日に第4回運営委員会を開き、プログラムや運営について最後の意見交換をおこないました。

会議では、最初に事務局から、これまでに45の都道府県から交流集会への参加申込みが約500人になったことが報告されました。しかし、会場となる日本教育会館のホールは定員が800人余であることから、参加したそれぞれの「会」がさらに参加促進の努力をおこなうことを確認しあいました。(その後取り組みがすすみ11月6日現在の申込み者は615人)

プログラムに関しては、午前の全体会で大江健三郎、奥平康弘、澤地久枝のよびかけ人3氏があいさつを行うことが報告されました。また、特別分散会の報告には青年を加えたいとの意見がだされ、その後、国

際基督教大学の学生九条の会からの報告が決まりました。

なお、午後の分散会・分科会では、新たに設けられた特別分散会、女性分散会への参加希望が多いのが特徴となっています。

(全体会、特別分散会におけるその他の報告は「ニュース」前号参照)

会議では分散会・分科会の司会・受付・記録などの分担を決め、14日には司会担当者の会議を開くことを確認しました。

草の根の活動の交流、活発に

【広島県・呉市】 広島県呉市内の7つの「九条の会」でつくる「呉地区9条の会連絡センター」は10月22日、「憲法9条を守る音楽と講演の集い」を開き、約100人が参加しました。2006年から毎年開いているもので、今年で6回目になります。

「集い」ではオカリナの演奏があり、つづいて「上関原発止めよう！ヒロシマネットワーク」共同代表の木原省治氏が「フクシマに学ぶ～止めよう！上関原発」のテーマで講演。「来年の春には国内の全ての原発

が定期点検などで停止するが、運転再開に向けた世論づくりの動きが強い。その波を食い止めよう」とよびかけました。会場からは、「原発を動かさないと電力不足になるというが？」の質問もあり、木原氏「再稼働しなくとも問題ない」と答えました。

【広島県・安佐地区】 広島市の安佐北・安佐南両区にある九条の会など16の「会」でつくる「九条の会安佐地区ネットワーク」はこのほど安保問題の学習会を開き、約40人が参加しました。

安佐ネットの坂本裕事務局長は、「9条を守ろうとすれば、常にちらつく安保について学習したい」とあいさつ。広島県9条の会ネットワーク事務局の二見伸吾氏が、「安保からみる原発、暮らし、私たちの未来」と題して講演、「憲法と安保は水と油。安保をなくして憲法が生きる日本に」とよびかけました。

【高知県・はた地区】 高知県西部の6市町村のそれぞれの九条の会の運動を交流するためにつくられている「はた九条の会連絡会」は、10月1日、俳優の日色ともゑさんを招き、結成2周年記念講演会を開きました。日色さんは、「今年も34回原爆詩朗読会に参加しました。戦争があったことも知らない人たちに原爆や東京大空襲のことを伝えていきたい」と語りました。

交流では、「人口の過半数の署名を集めて大型の看板を9カ所作った」（大月町）、「毎月役員会を開き署名1万を目標に活動している」（宿毛市）、「幅広いよびかけ人をつくり人口過半数の署名を集めた」（土佐清水市）などの活動報告がおこなわれました。

四万十市の田中市長が、「みなさんの活動

が平和に寄与することを期待します」とあいさつしました。

戦争に動員された体験談を聞く

【名古屋市・熱田区】 あつた九条の会は10月10日、戦時中、軍需工場などに勤労働員された人たちの体験を聞く会つどいを開き、約50人が参加しました。

19歳のとき愛知時計電機に動員された西川ふみ枝さん（84歳）は、「昼休みに、ふと空を見上げたら、米軍機が5、6機見え、とっさに建物に身を隠しました。爆弾で壁が崩れ、あたり一面真っ暗。本当に怖かった」と語りました。藤倉英男さん（82歳）も戦闘機部品工場に動員され、「終戦間際になると連日連夜、米軍機の焼夷弾が雨あられと降ってきて、逃げるのに必死でした。それでも、『最後に神風が吹いて戦争に勝つ』と信じて疑いませんでした」と話しました。

代表の武藤佳子さんは、「戦争中はすべての人が戦争に加担させられました。今後も戦争体験を聞く集いや学習会をどんどん企画したい」とあいさつしました。

ススキ見物の客に訴え

【神奈川県・箱根町】 箱根九条の会は10月16日、仙石原ススキ草原で10枚のパネルを使い、7人が参加して「憲法9条を守ろう」の宣伝行動をおこないました。

今が見ごろのススキを見物に訪れた観光客でにぎわう草原で、「子どもたちに戦争がない地球を残しましょう」などよびかけました。「憲法9条はどんな中味ですか」との質問も寄せられ、用意した資料ビラを手渡しながらいねいに説明しました。